

専攻主科目名

下部消化管外科学

◆問合わせ連絡先 担当：外科学講座 教授 落合大樹

E-mail hiroki.ochiai@teikyo-u.ac.jp

TEL 03-3964-1211 (内線 34649・Eメール 7040)

HP(研究室・診療科) <http://teikyo-daicho.com/>



当科では、基礎と臨床を繋ぐTranslational researchの視点から、最先端の技術を用い、主に癌の診断と治療に関して以下のテーマで研究を行っています。

研究テーマ

1. 大腸癌における極長鎖脂肪酸の発現意義
2. 癌幹細胞のプロファイル解析と癌治療への応用
3. サルコペニアを伴う大腸癌患者の治療に関する研究
4. 癌の化学・放射線療法、分子標的薬における治療効果予測法の開発
5. 癌免疫療法の開発
6. 大腸早期癌内視鏡治療後の追加腸切除の適応の研究

国際学会での発表や論文作成を奨励しており、英文国際誌の論文掲載を目標に学位取得を目指します。

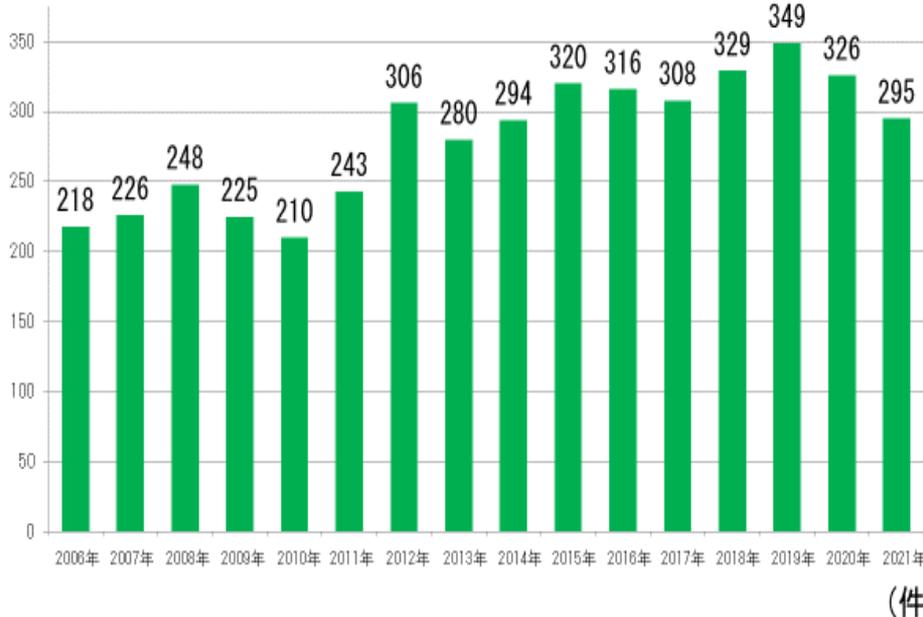
研究実績(学位論文のみ)

1. Impact of Fluoropyrimidine and Oxaliplatin-based Chemoradiotherapy in Patients With Locally Advanced Rectal Cancer. Okada Y, Ozawa T, Hayama T, Ohno K, Tsukamoto M, Fukushima Y, Shimada R, Nozawa K, Matsuda K, Hashiguchi Y. *In Vivo*. 2021;35(1):593-601.
2. Circulating Exosomal MicroRNA-21 as a Biomarker in Each Tumor Stage of Colorectal Cancer. Tsukamoto M, Iinuma H, Yagi T, Matsuda K, Hashiguchi Y. *Oncology*. 2017;92(6):360-370.
3. Clinical significance of microRNA-21 as a biomarker in each Dukes' stage of colorectal cancer. Fukushima Y, Iinuma H, Tsukamoto M, Matsuda K, Hashiguchi Y. *Oncol Rep*. 2015 Feb;33(2):573-82.
4. Clinicopathological and prognostic significance of the microRNA processing enzyme DICER1 mRNA expression in colorectal cancer patients. Akahane T. *Mol Clin Oncol*. 2013 Mar;1(2):267-273.
5. Prognostic significance of CTCs and CSCs of tumor drainage vein blood in Duke' Stage B and C colorectal cancer patients. Shimada R, Iinuma H, Akahane T, Horiuchi A, Watanabe T. *Oncol Rep*. 2012 Apr;27(4):947-53.
6. Prognostic significance of PDC4 expression and association with microRNA-21 in each Duke's Stage colorectal cancer patients. Horiuchi A, Iinuma H, Akahane T, Shimada R, Watanabe T. *Oncol Rep*. 2012 May;27(5):1384-92.
7. Predictive value of cancer stem-like cells and cancer-associated genetic markers for peritoneal recurrence of colorectal cancer in patients after curative surgery. Nakamura K, Iinuma H, Aoyagi Y, Shibuya H, Watanabe T. *Oncology*. 2010;78(5-6):309-15.
8. Association of plasma VEGF-A, soluble VEGFR-1 and VEGFR-2 levels and clinical response and survival in advanced colorectal cancer patients receiving bevacizumab with modified FOLFOX6. Aoyagi Y, Iinuma H, Horiuchi A, Shimada R, Watanabe T. *Oncol Lett*. 2010 Mar;1(2):253-259.
9. Clinicopathological and prognostic value of microRNA-21 and microRNA-155 in colorectal cancer. Shibuya H, Iinuma H, Shimada R, Horiuchi A, Watanabe T. *Oncology*. 2010;79(3-4):313-20.
10. Rapid genetic diagnosis with transcription-reverse transcription concerted reaction system for peritoneal recurrence and survival in colorectal cancer patients. Hayama T, Iinuma H, Watanabe T. *Oncol Rep*. 2007 Oct;18(4):779-84.
11. Prognostic value of 5-fluorouracil metabolic enzyme genes in Duke's stage B and C colorectal cancer patients treated with oral 5-fluorouracil -based adjuvant chemotherapy. Yamada H, Iinuma H, Watanabe T. *Oncol Rep*. 2008 Mar;19(3):729-35.

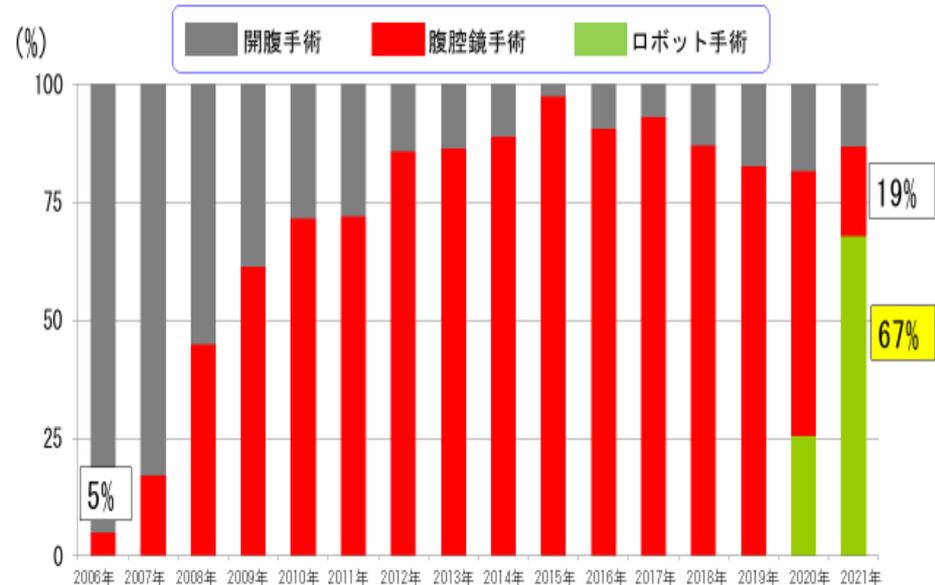
臨床面も充実している！

1. 下部消化管に関わる緊急処置を有する良性症例から進行した悪性疾患までの豊富な症例を有しており、大腸癌、大腸ポリープ、大腸ポリポシスなど。昨年からIBDセンター（センター長：落合大樹教授）が設立され炎症性腸疾患の症例が増え、**多岐にわたる症例が研修対象**となっています。
2. 大腸癌、炎症性腸疾患、虫垂炎、ヘルニアなど積極的に腹腔鏡手術を行っており、**腹腔鏡手術手技を習得**できます。

年間下部消化管外科総手術件数の推移



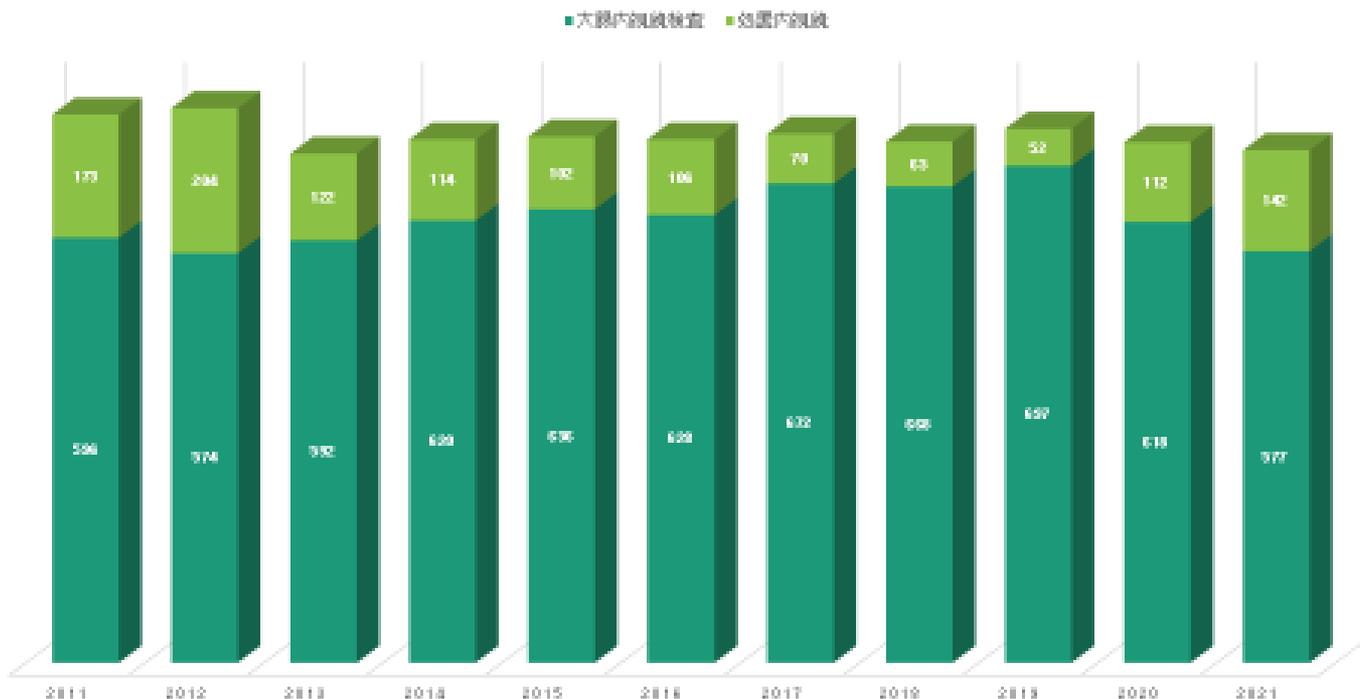
直腸癌における年間腹腔鏡/ロボット手術率の推移



3. 外科手術のほかに大腸内視鏡検査、注腸造影検査、化学療法などを研修できます。

当科では年間700件前後の大腸内視鏡検査を行っております。その内、約1割は処置内視鏡（ポリープ切除等）です。内部研修にて大腸内視鏡検査ができるように指導します。

帝京大学下部消化管外科での大腸内視鏡検査件数の推移



キャリアデザイン

1年目

3年目

7年目

9年目

11年目

初期 研修	社会人大学院	外科 スタッフ	関連 病院	帝京大学病院 外科助教
	後期研修			

たとえば、モデルケースとして、2年間の初期研修後、下部消化管外科に入局して臨床活動を行い、さらに、並行して大学院に入学されて4年間学位研究もを行い、大学院卒業後の1-2年の外部施設研修（**埼玉市民医療センター・埼玉県立がんセンター・所沢肛門病院など**）まで終了し、卒後10年経過した時点で達成されること

1. 腹腔鏡下大腸切除術ができるようになる
2. ロボット手術ができるようになる
3. 大腸内視鏡検査ができるようになる
4. 大腸癌に対する化学療法ができるようになる
5. 博士号が取得できる（実績100%）
6. 外科学会専門医、消化器外科学会専門医、大腸肛門病学会専門医、消化器内視鏡学会専門医等の資格が取得できる
7. 内視鏡外科学会技術認定医を取得できる

君も是非下部消化管外科グループへ

下部消化管外科では、ホームページを開設し、当科の診療情報、スタッフ紹介、大学院の研究室、研究プログラムの紹介、疾患の解説などのいろいろな情報を公開しております。是非ご覧ください。

東京大学医学部附属病院 下部消化管外科

TEL: 03-3964-1211 (内線)

HOME > 受診される方へ > 診療の特徴 > 診療実績 > よくある質問 > 教育・研究 > 疾患の解説

初めて受診される方
診療のご案内
診療のご案内

ようこそ診療部へ
診療部からのメッセージ

診療実績
最新の手術の発表

患者そして家族と共にあゆむ医療

診療情報

- 診療部の特徴(動画)
- ご挨拶
- 受診に際して
- 外来のご案内、外来担当表、アクセス
- 問い合わせ

診療の特徴

- 基本方針 (診療の特徴)
- 腹腔鏡下手術
- 単孔式腹腔鏡下手術
- 腔鏡手術
- 術前化学放射線療法
- ISR等の専門療法の追求
- 大腸癌化学療法
- 救急疾患への対応
- CTコロノグラフィ

診療実績

- 年間手術件数の推移
- 年間腹腔鏡手術件数の推移
- 大腸癌化学療法実績 (補助・進行再発)
- 大腸癌根治療法と治療実績
- 緊急手術実績
- 参加している臨床試験

よくある質問

- 一般
- 診療関連
- 症状関連
- 検査関連
- 治療関連
- その他

医学生・医師
研修・教育関連

教育・研究プログラム (www.kanagawa-u.ac.jp)

- 教育プログラム (学生、研修医の方へ)
- 研究プログラム (大学院希望の方へ)

下部消化管疾患の解説

- 大腸ポリープ
- 大腸癌
- 炎症性大腸炎
- クローン病
- 大腸憩室症
- 虫垂炎
- 腸憩室(イレウス)
- 虚血性腸炎
- 腸管憩室

診療情報

2014年06月10日 5月月初外来を受診した紹介患者さんの入院経過、手術後と状況

▲ホームページ：
<http://teikyo-daicho.com/>
(検索：帝京大腸コム)